

ハーモニー

平成 30 年 12 月 7 日
新発田市立七葉中学校
3 年 1 組学級だより No. 28
文責：安達 智美

PTA 教養文化部講演会「サイエンス実験ショー」

4 日(火)に新潟県立自然科学館から 2 名の講師先生をお招きし、サイエンス実験ショーを行っていただきました。TV で見たことのある実験を間近で見ることができました。講師先生もお話していましたが、「観察すること＝注意深く見ること」を実体験できる盛りだくさんの講演会となりました。以下、生徒の感想です。

- 一緒に実験を行ったりできて楽しかった。今までテレビでしか見たことがなかった実験を実際に見ることができて良かった。
- 理科の電流や電圧の単元が苦手だったけれど、興味がでてきたので良かったです。
- 科学に実験に興味をもつことができた。静電気のしくみを知ることができた。
- 生徒全員が参加できる実験がとても良かったです。実験をしながら解説をしていて、とても分かりやすかったです。
- 科学の仕組みなどを知る機会だったのでとても良かった。静電気を間近で見たり、体験できて良かった。
- テレビではたくさん見たことがあった空気砲だけれど、煙が回転している様子をよく観察できて楽しかったです。



翔平先生にサプライズビデオレターを作ろう！

先日、結婚式を挙げた翔平先生に 3 年生全員でサプライズビデオレターを作りました！学年委員で前もって計画をし、1 時間の限られた中でメッセージボードの作成と撮影を行いました。時間内にできるか不安はありましたが、全員の協力の下、ギリギリで完成しました☆



各班で 2 つの文字を書いたりお花紙を作り、「翔平先生おめでとう♡いつまでもお幸せに♡」のメッセージを完成させました！



同和教育「水平社創立と立ち上がった人々」

先月 22 日(木)に同和教育の公開授業が行われました。生徒と同年代の山田少年が演説で訴えたかったこと、水平社宣言文に込められた願いを読み取り、班で考え、まとめました。授業の最後には、「自分自身が差別についてどう考え、どう行動するか」を書きました。「同情してほしくない!」と言った西光万吉の言葉にもあったように、“同情”ではなく、相手を心から理解し“共感”することが大切だと思います。これまでの学習を通して、部落差別をはじめ、あらゆる差別に対して、他人事ではなく、自分たちのこととして考え、行動できる人になってほしいと思います。以下、授業での生徒の意見、感想を紹介します。



授業を見られた小学校の先生は、真剣に考える姿、成長している姿に感動し、喜んでいました。

【人の世に熱あれ 人間に光あれ】に込められた願い】

- ・差別のない、皆にあたたかい世の中であれ。人間が平等で思いやりあふれるあたたかい世の中であれ。
- ・冷たい社会を平等、思いやり、喜びといったあたたかいものであふれさせよう。
- ・冷たく暗い環境にあった人々を明るく温かい社会に導いてくれる光であれ。
- ・差別する人がいない“あたたかい心”をもった人が増えて、誰にでも“明るい未来”が来るように願う気持ち。
- ・人生が冷たく、凍えたものではなく、熱く、熱狂できるものであってほしい。そして、裏表なく陰で生きる人が出ないよう、皆が平等に光に照らされてほしいという願い。
- ・冷たい差別がなく、1人1人に輝かしい人生がくるようにという願い。
- ・世の中の差別の冷たさを経験してきて、先の未来も想像できないくらい暗かった。だから、人々が太陽のようなあたたかい光をもって、未来に光をあててほしい。
- ・世の中の冷たい差別をなくして、温かい未来をつくろう。輝かしい光が全ての人々を照らそう。

【あなたは差別についてどのように考え、どのように行動しますか】

- ・少年の演説を読んで、差別はこんなにも人の心を傷つけるのだと改めて思いました。そして、差別は自分たちの身近にもたくさんあって、自分も知らないうちに差別していたかもしれないと反省しました。今まで差別している現場をたくさん見てきました。でも、自分が差別されるのが怖くて止めることができませんでした。止めることはできないかもしれないけれど、相手のことを考えて差別をしないようにしたいです。
- ・差別はされる側の心を傷つけるのはもちろん、差別する側も幸せにはしない。「負」のみが生まれるものだと思う。差別が身近に行われた時、自分は人の話だけでその人の印象を決めず、しっかりその人自身と話をしたいと思う。
- ・差別はされた人を傷つけ、差別した人の心をすさんだものにする悪い影響しか及ぼさない行為です。そう分かっている人もそれが分からない人に流されてしまうこともあります。だから、私はある人を差別するという風潮に流されなくて、全ての人々を尊重していきたいです。
- ・演説にもあったように人間はみんな赤くて熱い血液が流れているのだから、差別は無くさなければならぬと思います。そのために私は、これまでに学んだ差別について忘れずに、他人事とは思わずに生きていきたいです。
- ・差別をなくすために自分ができる行動は、皆と会話をできるだけ多くすることだと思います。
- ・差別は世の中を暗くするもの。差別をしてはいけないということをもっと世の中知ってもらおう。差別をしている人がいたらやめさせ、世の中を少しずつでも変えていきたい。
- ・差別はあってはならないもの。同じ人間、優劣なんてない。口では何とでも言える。実際に行動するのは難しいかもしれない。でも、ほんの少しでも差別をなくせるように、偏った見方ではなく、いろんな角度から見てみる。自分一人の中にとどめるのではなく、いろんな人と差別について話し合ってみる。そして相手のことを理解する。
- ・もし差別をしている人がいたら、私は怖いかもしれないけれど、勇気を出して「あなたのやっていることは間違っているよ」と言えるように行動していきたいです。また、今までの自分の行動を思い出して、もし差別と同じような行動をしていると感じたら、深く反省し、やめていきたいです。
- ・「差別はあってしかたない」みたいな世の中は、私は嫌です。1人1人が今の自分を見直して、改善していかないといけない。差別はあってはいけない。だから、なくすためには自分が変わらないと無理だと思う。
- ・全ての人に差別をしない温かい心をもってもらうために、まず自分自身が温かい心をもって周りの人に優しく接したいと思いました。
- ・差別によって人生が狂わされることはあってはいけないし、差別をしている人たちは、自分が何をしているかを自覚していかなければならないと思いました。人を傷つける権利など誰にもない。だから私は、人が嫌がっていることをしている人を見たら注意をしたいです。